SIAL
Survivors of Incestuous Abuse

2016 年度活動報告

(2016.04.01－2017.03.31)

Ⅰ. 活動報告

Ⅰ.　活動成果

2016 年度は、『安心・安定した居場所作りと、私たちサバイバーの体験や意見を発信し、現在進行形の被害に対応する－助なる活動』を目標とし、重点的に行い、支援職の方々とも、勉強会などを通じて情報交換ができた。

また、今年度は 110 年振りに刑事法（性犯罪関係）の改正が行われることに関連して、他団体との協働やメディア対応が増え、多くの方に活動を知っていただく機会を得た。

さらに、これまでの活動内容が評価され、２つの助成を得られた。

１）Self Help 事業について

・ 6 月から 1 グループ増設、年間合計 33 回実施、23 人の新規の参加者があった。
・ 既存のグループの新会場への移転し、また、6 月に新設したグループも継続して活動することができ、安心・安定した居場所づくりが行えた。

２）SIAb. Project 事業について

・ ホームページ等による情報配信を継続して行うことで、被害当事者のみならず支援に関わる人などにも、この問題について情報配信が行えた。
・ 他団体との協働や助成事業（ゆめ応援ファンド）の勉強会で、支援に関わる方々やこの問題に関心を持つ方々など、より多くの方々に当事者の声を届けることができた。

３）助成金申請・助成事業について

① 助成金申請

・ リミニストリート・ファウンデーション
　¥197,600 相当：パソコン一式（物品助成）　* 2017 年 3 月 10 日　授与
　=事務局の仕事と Self Help 事業を手伝ってくれるメンバーに貸与
・ 草の根市民基金・ぐらん助成金
　¥371,000　* 2017 年 3 月 15 日　授与
　=2017 年 4 月から新グループを立ち上げその活動に使用

② 助成事業

・ ゆめ応援ファンド助成事業開催を以下の通り開催
　日　時：2017 年 2 月 5 日 13:00〜17:00
　会　場：東京ボランティア・市民活動センター　会議室 A
　参加者：近親姦虐待問題に関心のある支援職や関係機関の方 15

II.　事業報告

１．Self Help 事業

回復に取り組みはじめた当事者が、安心して語れる場で、過去のトラウマに向き合い、当事者の仲間と語り合いながら繋がり、自己の問題の解決に繋がる何かを掴みながら成長し、回復し続けることを目的として開催している。

なお、参加者には 100 円以上の献金をお願いしている。

１）開催について

・　開催…水曜日のグループ（第１・第３）　23 回開催
　　火曜日のグループ（第４）　10 回開催
　　＊6 月から開始

・　会場…（水）渋谷男女平等・ダイバーシティーセンター
　　（火）東京ボランティア・市民活動センター

２）内容詳細（グループによって時間配分は異なる）

① リラクゼーション（呼吸をととのえる）
② シェア・ミーティング（いいっぱなし・ききっぱなし）
③ 休憩（献金のお願い）
④ ディアローグ（対話の時間）
⑤ フェローシップ（会話の時間：安全に帰るための準備）

３）活動実績（右表参照）

① 2016 年度
・　延べ参加人数…204 名
・　平均参加人数･･･6.2 名 / 回

② 事業収益
・　献金額合計　63,357 円
・　平均献金額　1,920 円 / 回

③ 事業支出
・会場費　600 円 / 回（水曜日のグループのみ）
・今年度合計支出　13,500 円
　300 円 ×1 回（JUST 事務局使用）
　600 円 ×　22 回 = 13,200 円

２．SIAb. Project 事業

１） ホームページ等からの情報配信活動について

当事者同士で語り合い、協力し合いながら、回復を目指す活動を周知することによって、当事者が孤立することを回避するための情報を、SIAb.のホームページから発信していく。

被害当事者や加害当事者、サポートをして下さる方々、治療や公的支援に携わる方々、また、関係機関や社会全体で盛んな議論や活動が展開されて、治療方法や予防方法が日々検討されていくような社会をつくるための働きかけを続けていく。

① 2016 年度における動画の編集と配信

- 新規の動画なし

② 既存の動画の配信継続

- Series1 = SIA b .のメンバー3 人（近親姦虐待被害当事者）での語り合いを収録
- Series2 = 近親姦虐待被害当事者、加害行為経験者、双方の治療に携わる人の語り合いを収録
- Series3 = 実際の SIAb.シェアミーテインングとフェローシップの模様　（１）（２）
- 当方見聞録 = 性暴力・性虐待問題で繋がる多様な仲間とのトークセッション
- ツナガル * カタル　ダイジェスト版 = 2013 年度に UP した動画を約 40 分に編集

○ツナガル・カタル　動画配信実績（ * 下記表はアクセス数）

	凹らの時代														当方見聞録					ツナガル＊カタル　ダイジェスト版			
	Series1　あや×なみ×けいこ					Series2 斎藤先生×Kさん×なみ×けいこ					Series3				Series1　まさこ×けいこ								
#	2013	2014	2015	2016	合計	2013	2014	2015	2016	合計	2014	2015	2016	合計	2013	2014	2015	2016	合計	2014	2015	2016	合計
1	88	82	46	40	256	84	83	40	32	239	24	133	56	213	63	48	56	40	207	201	123	101	425
2	73	54	37	30	194	64	58	27	24	173	12	140	38	190	43	38	25	21	127		100		
3	86	51	172	30	339	71	115	38	36	260		162	39	201	37	25	21	16	99				
4	96	41	19	15	171	65	52	36	25	178		158	45	203	36	19	22	34	111				
5	74	36	20	17	147	9	63	36	27	135		118	62	180	44	17	17	12	90				
6	74	40	25	17	156	8	66	38	20	132		174	53	227	29	19	19	17	84				
7	71	38	18	12	139	8	85	36	21	150		94	48	142	39	27	24	33	123				
8	98	39	24	10	171	10	100	41	21	172		50	57	107	59	57	108	192	416				
9	52	32	17	13	114		110	35	17	162		71	220	291									
10	56	26	20	8	110		123	37	21	181													
11							118	44	18	180													
12							94	41	19	154													
13							122	42	22	186													
14							257	47	26	330													
	768	439	398	192	1797	319	1446	538	329	2632	36	1100	618	1754	350	250	292	365	1257	201	223	101	425

２） ソーシャルネットワークからの情報発信について

ホームページと Twitter、Facebook を連携して、活動の内容の情報を拡散

- Twitter　フォロワ–数　　148 件（2016 年 2 月 22 日現在）* 昨年度 83 件
- Facebook ページにいいね数　　27 件（2016 年 2 月 22 日現在）* 昨年度 39 件

＊ 本年度は、刑法改正にまつわる活動や報道関係者との勉強会の活動などを通じて、多方面の方々からアクセスが増え、確実に活動が周知されていていることが実感できた。

３） その他の活動およびメディアからの取材対応などについて

2016 年

４月 26 日　「映画『月光』を勝手に応援する Podcast」　出演協力

５月 11 日　性暴力と刑法を考える当事者の会　座談会　参加
　　１８日　読売新聞・生活部から取材を受ける
　　（性虐待・近親姦虐待の実態と成人期における後遺症の影響ついて　および刑法改正検討事項である監護者からの被害の影響について）
　　25 日　法制審議会-刑事法（性犯罪関係）部会　第 6 回会議のヒアリングで発言
　　＊「刑法性犯罪を考える当事者の会」主催者の発言に協力
　　（SIAb.メンバーが回答した『近親者からの性虐待被害についての調査アンケート』の結果を資料として提出した）

６月　８日　性暴力と報道対話の会　当事者・記者へのガイドブック作成検討会　参加
　　29 日　読売新聞・医療部から取材を受ける
　　（“医療ルネサンス” / 読売新聞　8 月 17 日・18 日掲載）
　　同日　性暴力と刑法を考える当事者の会　ブックレット作成検討会　参加

７月 13 日　読売新聞・医療部　“医療ルネサンス”追加取材を受ける
　　26 日　上記　追加取材を受ける
　　27 日　性暴力と刑法を考える当事者の会　ブックレット作成検討会　参加

９月 14 日　性暴力と刑法を考える当事者の会　ブックレット作成検討会　参加
　　28 日　東京都児童福祉士会　勉強会にて登壇

11 月 2 日　日本弁護士連合会との面談
　　『日本弁護士連合会の意見書に対する意見交換と反対の要望書』提出
　　(「性暴力と刑法を考える当事者の会」と、57 団体より弁護士会への抗議声明の同意を頂いた「性暴力 禁止法を作ろうネットワーク」と協働)

22 日　児童養護施設「二葉学園」訪問

12 月 13 日　BBC 英国放送協会からの取材をうける
（ *“Stacey Dooley Investigates”*：日本における児童ポルノについて）
14 日　性暴力と刑法を考える当事者の会　ブックレット作成検討会　参加
17 日　「ヒューマンライブラリー@立川 2016」：立川福祉協議会主催
スピーカーとして参加

2017 年

1 月 18 日　児童養護施設「救世軍機恵子寮」訪問

2 月 5 日　ゆめ応援ファンド助成事業
「近親者からの性虐待被害について考える
〜当事者と支援者の対話から始めよう〜」開催
14 日　NHK 報道局　科学・文化部からの取材を受ける
（性虐待被害全般について当事者の声、刑法性犯罪改正に対する意見、SIAb.
の活動内容などについてなど）
15 日　東京ボランティア・市民活動センターの取材を受ける
（“セルフヘルプという力　第 6 回”
/ ネットワーク第３４７号　2017 年 4 月号掲載）
22 日　マスコミ倫理懇談会に参加
25 日　草の根市民基金・ぐらん助成金２次審査会にて発表：助成対象に選ばれる
26 日　ききマネカフェ：東京ボランティアセンター・市民活動センター主催にて登壇

3 月 4 日　朝日新聞社会部から取材を受ける
（“家庭内虐待　第三者の目を” / 朝日新聞　3 月 7 日夕刊掲載）
15 日　テレビ東京報道局・取材センター司法担当者から聞き取り取材を受ける
22 日　性暴力と刑法を考える当事者の会　連続勉強会検討会　参加

III．平成 29 年度（2017 年度）　活動計画案

2017 年度は、『安心・安定した居場所作りと、その周知活動のための準備』を目標とし、重点的に行っていく。

また、草の根市民基金・ぐらん助成事業助成事業活動を開催、報告会への準備を進める。

さらに、2018 年度からの新たな活動「“まだ見ぬ仲間がどこかで私たちを待っている！”をテーマにした、近親姦虐待問題に特化した自助グループの有効性についての周知活動とグループ新設のための活動」の準備を進める。

1. Self Help 事業
   - 既存のミーティングを継続して開催し、毎月 3 回開催、年間合計 36 回実施する。
   - 『絵を描くサロン at SIAb.』（草の根市民基金・ぐらん助成事業）を増設・開催する。

2. SIAb. Project 事業
   - ホームページ等による情報配信を継続する。

3. その他（助成事業）：2016 年度　草の根市民基金・ぐらん助成事業
   『絵を描くサロン at　SIAb.』を新設・開催し、活動報告会（2018 年 8 月）に向けての準備をする。
   ① 毎月 1 回（不定期）開催
   ② 2018 年秋に作品展を開催予定・準備
   ③ 2018 年 8 月活動報告会に向けての準備
   ④ 協力メンバーとの運営会議の開催

4. その他（新規活動）
   「“まだ会えぬ仲間がどこかで私たちを待っている” をテーマとし、近親姦虐待問題に特化した自助グループの有効性についての周知活動と、グループ新設のための活動」を行うための準備や、協力メンバーや協働する団体とのつながりをつくる。

以　上